

発 言 通 告 書

発言者氏名	長谷川昇
発言の会議	平成29年 5月31日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、田神副市長、教育長

【件名及び発言の要旨】

1 秋谷海岸における水上オートバイの乗り入れについて

- (1) 市長として横須賀の観光についての考え方、さらには海や浜の利用についての基本的な考え方をお聞きします。
- (2) なぜ長井地区には「海・浜のルール」があるのに、同様の海岸・砂浜を持つ大楠地区にはこのルールが規定されていないのかお答えください。
- (3) 秋谷海岸における水上オートバイの問題について、市長は承知していたのでしょうか。
- (4) 地元町内会からは、何度となく相談をしたと聞いていますが、市として、昨年11月から本年3月までの間にどのような対応をしてきたのか、田神副市長に伺います。
- (5) 行政の責任者としてこれまでの対応をどのように評価されているのか、市長に伺います。
- (6) 結果として、市の対応が後手に回ったことから、業者が地元町内会と直接やりとりをする事態になっていると考えられます。市として、今後どのような対応をするのか田神副市長の考えを伺います。

- (7) 今回の件については、市長の政治姿勢が問われる問題であります。市長みずからどのような判断をしたのか、これからどのような判断をしていくのか伺います。
- (8) 今後改善が見られない場合には、新たな条例の制定や関係条例の改正などが必要になるのではないのでしょうか。市長は、条例による規制まで考えるのか、それともルールづくりで十分と考えるのでしょうか。

2 教職員の超過勤務の実態調査と課題解決の方策について

(1) 教職員の超過勤務の実態調査について

- ア 教職員の長時間労働は仕方がないものと考えているのか、改善できるものと考えているのか、市長、教育長のお気持ちを伺います。
- イ 今回、文部科学省の調査では、「中学校教員の6割は過労死水準」と出ていますが、教育長は本市の実態をこれまで調べたことがあるのでしょうか。また、今後調査するつもりはあるのでしょうか。
- ウ 現状が改善されるためには、具体的な課題について検討し、改善策を推進していくセクションを置く必要があると考えますが、教育長には取り組むお考えはありますか。
- エ 部活動に関して、文部科学省からも外部指導員の導入など新たな仕組みづくりの動きが出ています。本務の教育課程に大きな影響を与えている部活動のあり方を緊急に討議していく必要があります。部活動に関して市として今後どのように考えていくおつもりか、教育長に伺います。

(2) 課題解決の方策について

- ア 今年度の小学校3年生の35人以下学級の施策について、条件に沿っていても教員の配置の補充ができず、実施されていない学校もあると聞いています。臨時的任用職員でなく、フルタイムの非常勤講師といった変則的な募集の方法を改善する必要があるのではないかと思います。次年度に向け、条例改正も

含めて取り組む必要があると思いますが、いかがでしょうか。

イ 学校ごとに「労働安全衛生委員会」を設置することも横須賀ならではの大切な施策と考えますが、いかがでしょうか。

ウ 支援の必要な子どもに対して、スクールソーシャルワーカーや弁護士などのチームで取り組む体制をつくることが必要と考えます。巡回型の実効性のある支援チームがあれば学校現場の負担も大きく変わるとと思いますが、いかがでしょうか。

エ 弁護士を教育委員会の常駐スタッフとして配置し、課題解決に当たるという施策も有効と思いますが、そういった取り組みについて、教育長はどのように考えますか。また、予算面のことがありますので市長のお考えも伺います。

オ 市としての「支援教育」の考え方と教育条件整備の考え方について教育長に伺います。